



# 北村 あや子 区政ニュース

## 荒川区役所本庁舎建て替え検討状況

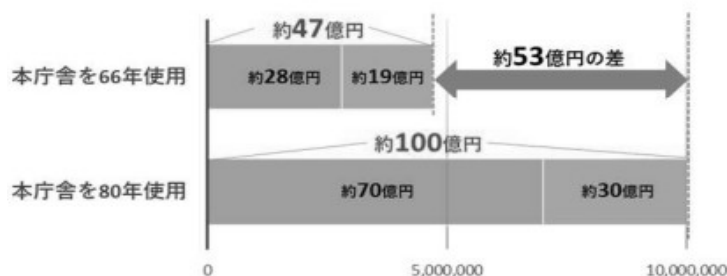
荒川区庁舎は1968年に竣工、地上7階地下1階建て。横長の湾曲した外観のクラシカルな庁舎です。建築面積は3,780㎡、延べ床面積は16,770㎡、今年で築55年となります。区は「耐用年数は65年としているものの、大規模改修工事などで80年まで長寿命化が可能」として長寿命化を推進してきました。2009年の耐震工事15.4億円をはじめ、改修工事などで合計約38億円をすでに現庁舎にかけています。

しかし今後、80年まで使用するとした場合は大規模・根本的な改修も必要となるといいます。最長80年(2048年)まで使用した場合と、66年(2034年、他区が計画～建設に要した期間を参考にした年数)まで使用した場合を比較すると、改修経費は53億円追加でかかる見込みといわれています。



今後必要となる大規模改修・維持補修経費の比較

■ 本庁舎 ■ 周辺施設



区は施設・設備の老朽化、庁舎機能が分散化しており来庁者にとって利便性が低いこと、手狭なこと、環境負荷、災害時の防災機能、バリアフリー対応などを現状の課題としてあげています。

### どこに建て替えるの？

最有力候補地は現本庁舎向かいの荒川公園(左画像)。区内でも貴重な緑豊かな公園ですが、樹木はどうするつもりなのか。

### 建設工事費の財源は？

庁舎建設には約200億円がかかると想定していますが、国や東京都の補助措置はありません。区は5割を基金積み立てとして、今年度から12億5千万円を積み立てて2030年までに約100億円を貯める予定です。

建設費の1/4は起債(約50億円を想定)を発行、残りの1/4相当分については「今後、民間活力の活用など様々な事業手法の可能性を追求し、財政負担軽減に努める。」としています。PFIやクラウドファンディング、新庁舎のテナント賃貸料などを想定しているようですが…。

今いる区民が必要としている事業、子育て、高齢者・障がい者、地域経済支援など様々あります。「区庁舎建て替えがあるから、それらの事業ができない」というのは問題ではないでしょうか。起債割合を高め、将来の区民に負担を分散することも必要ではないでしょうか。

なさんの率直なご意見をお寄せください。



**8月の法律相談はお休みします。お急ぎの方はご相談ください。生活相談はいつでもどうぞ。**

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

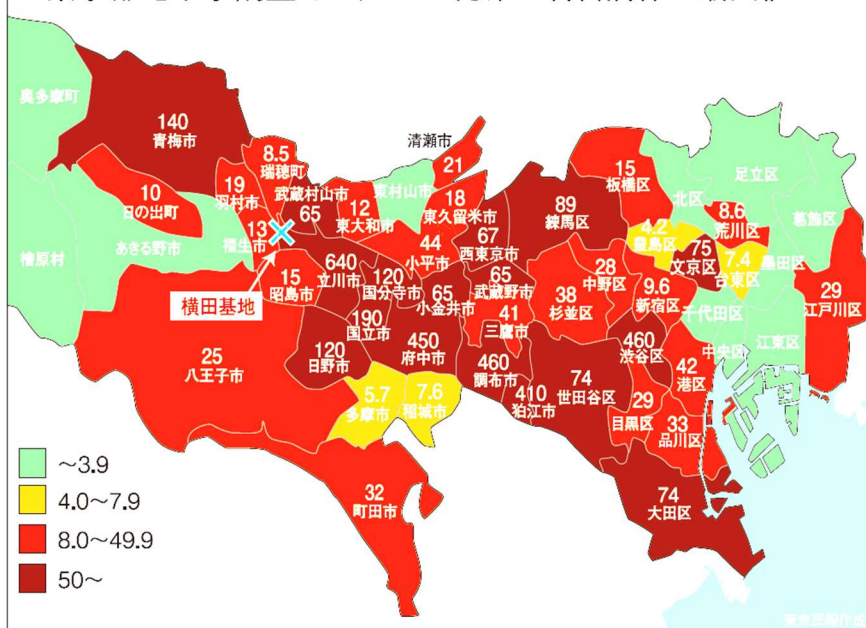
<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



# 都内の PFAS 汚染、都環境局調査で荒川8.6

東京都地下水調査での、PFAS汚染の各自治体の最大値



都環境局は6月30日、2022年度の地下水調査の結果を公表しました。都内各地の「井戸水」等から発がん性が指摘される有機フッ素化合物(PFAS=ピーファス)が高濃度で見つかり、問題になっています。

東京民報によると、今回の調査にアメリカの環境保護庁(EPA)が示した規制値案を当てはめた場合、島しょを除く都内53自治体のうち、38自治体が基準を超えているとのこと。

高濃度の自治体は、米軍横田基地の東側に集中しており、基地への立ち入り調査を求める声が高まっています。

防衛省は横田基地で2010~2012

年、PFASを含んだ泡消火剤の漏出を3件の起こしていたと認めています。

荒川区は横田基地からは離れていますが、地下水から1ℓあたり最大8.6ナノグラムが検出されています。荒川の水道水は「金町水系」で井戸水は使われていませんが、区民から心配の声が寄せられています。国や都に対して、原因追究を求めるとともに、区としても調査すべきではないでしょうか。ご意見をお寄せください。

## 子どもの歯科矯正への保険適用を求める意見書案 自公が賛同せず～本会議に上程できませんでした



現在、治療と美容目的との線引きが難しいとして、歯科矯正の保険適用は非常に厳しく限定されています。

ドイツやイギリスは18歳、フランスは16歳までの歯科矯正には医療保険

が使えます。日本でもせめて、学校の歯科検診で歯列異常や不正咬合で矯正の必要性を指摘された子どもの場合は医療保険を適用すべきではないでしょうか。

2021年の国会では「学校保健安全法による検診の場で指摘されたにも関わらず、対応できないというのは法の趣旨に反するものである」として、子どもの歯科矯正への保険適用の拡充を求めた請願が、全会一致で採択されています。

子どもの歯や航空の健康な状態を保つこと、発育期における適切な歯科治療は、顔の骨格や身体を健康を

良好な状態にするだけでなく、精神的な安定や生活習慣の改善にも効果があると言えます。

しかし、保険がきかず治療費が高額(目安として一期治療で10万円~50万円、二期治療で20万円~100万円)となることから、受診・治療ができない子どもたちがいます。いま、格差と貧困の問題が深刻化しています。世帯の経済状況によって、健康格差を生み出すことがあってはなりません。

日本共産党は6月会議に、国に対し子どもの歯科矯正への保険適用を早急に実施することを求める意見書を提案しましたが、幹事長会で自民党、公明党の賛成が得られず、本会議に上程されませんでした。とても残念です。引き続き小児歯科矯正の保険適用を要望してまいります。



**\*都営住宅定期募集が8月1日から** 始まります。申込書は荒川区役所、区民事務所で配布しています。ホームページからも申し込めます。申込書の書きかたなど分からない点がありましたら、お問合せ下さい。